

安全に暮らせる
まちづくり委員会

永田大貴 委員長(旭志中)
菅 邦寛 書記(七城中)

出口徹平議員(菊池北中)
質問▼①菊池市を流れる川を守るための活動や取り決めはどのようなことをされているのでしょうか。

答弁▼①平成元年に、菊池川流域の市町村で菊池川流域同盟を結成し、自治体の枠組みを超えて統一条例(菊池市の河川を美しくする条例)を制定し、菊池川の浄化に取り組んできました。

また、河川水援隊による河川パトロールや、河川の水質調査、不法投棄パトロールなどを実施し、河川の監視を行っています。

②河川の水質保全のための生活廃水処理対策の取り組みについておたずねします。

現在の整備率は58%となっていますので、残りの未整備地域を、その地域・地域に合わせた事業計画で整備し、水洗化の推進に努めてまいりたいと思っております。

質問▼①合併して教育上何か変わったところはあるのでしょうか。

②菊池市の中学校5校が交流するようには考えているのかおたずねします。

代表質問

お互いが大切にされるまちづくり委員会(中村安希 委員長「菊池北中」)

質問▼①それぞれの学校には歴史、伝統や地域性があり、市教育方針を基本にしながらも、これらの特色を活かした学校運営や教育活動を行っていますので、

②交流を目的に、市主催で様々なイベントを行っていますので積極的に参加し交流を図りたいと思います。

また、皆さんも部活動や音楽祭などで交流をされていますが、生徒会役員同士による交流は、すべてでもできるのではないかと。



本会議場での委員会報告

小島一晃議員(菊池南中)

質問▼菊池市では環境を良くする活動として、どのような取り組みがなされていますか。

答弁▼菊池市では、毎年「青少年一日一汗運動」や「まもも」みんなの川と海づくりデー」と称して、市内の一斉清掃に取り組んでいます。

また、環境の国際標準規格である「ISO14001」の認証を受けており「グリーン購入」による環境負荷の少ない事務用品の購入など、エコオフィス活動の推進などに取り組んでいます。

境 洋議員(七城中)

質問▼菊池市全体でできる清掃活動の取り組みを実施してみたいです。

答弁▼菊池市では、毎年「青少年一日一汗運動」や「まもも」みんなの川と海づくりデー」などの市内一斉清掃のほか、各総合支所単位でも清掃活動を行っています。

回数としては、年間に数回ですが、清掃する一方ではゴミを捨てる人がいるということとその対策として不法投棄を監視する為のパトロールを毎日実施しています。

また、皆さんのような心がけの人が一人でも多くなること、きれいなまちづくりの原点であると思います。

ねえ、

地域での清掃活動や、学校での取り組みに、皆さんが積極的に参加していただき、地域と関わることで、周りの皆さんの意識も変わってくるのではないかと。

菅 邦寛議員(七城中)

質問▼障害者用駐車場の一般利用の阻止の対応についておたずねします。

答弁▼障害者用駐車場の一般利用の阻止については、現在菊池市として、これといった取り組みはしていません。

そのようなことから、指導の難しさもあり、現在菊池市として、これといった取り組みはしていません。

今後の取り組みとしては、まず、障害を理解することも必要ではないかと思えます。

その上で、学校や家庭、職場などあらゆる場所での話し合いなどを通じて、一人ひとりのモラルの向上に努めることが必要ではないかと考えます。

清水奈穂議員(旭志中)

質問▼福祉施設の建設やバスの本数を増やすなどの計画はありますか。

答弁▼高齢者福祉施設として、菊池と旭



安全に暮らせるまちづくり委員会

しようか。

今後、5つの中学校の交流については、教育委員会として

も各学校と十分協議をしながらできるだけ多くの交流ができるよう応援していきたいと思っております。

魅力あるまちづくり委員会(足立一樹 委員長「七城中」)

質問▼暗くて危険な道路に街灯の設置や何か対策をお願いしたいです。

答弁▼街灯には「街路灯」と「防犯灯」の2種類があり、街路灯は主に交通事故の防止を目的としており、防犯灯は通学路、住宅地、農村地域の生活道路における犯罪防止を目的に設置されているものです。

足立議員のおたずねは、防犯灯の設置だと思われ、防犯灯の設置基準の主なものについて説明します。

①道路交通照明灯でないこと、個人の家の門灯に該当しないこと。

②設置する場所が、国道、私道以外の道路であり、行き止まりでない道路であること。

③設置する防犯灯から最も近い既設の防犯灯までの直線距離が、おおむね50メートル以上あり、その間に照明器具がないこと。

設置までの手続きは、あくまで

ねえ、

答弁▼障害には、さまざまな障害があり、外見では障害があるのか分からない方もいらっしゃると思います。

そのようなことから、指導の難しさもあり、現在菊池市として、これといった取り組みはしていません。

今後の取り組みとしては、まず、障害を理解することも必要ではないかと思えます。

その上で、学校や家庭、職場などあらゆる場所での話し合いなどを通じて、一人ひとりのモラルの向上に努めることが必要ではないかと考えます。

清水奈穂議員(旭志中)

質問▼福祉施設の建設やバスの本数を増やすなどの計画はありますか。

答弁▼高齢者福祉施設として、菊池と旭

でも区からの申請・要望となっており、区・区長さんと相談することになります。

設置費用負担につきましては、設置基準に適合した防犯灯の新設に要する経費は、市が全額負担いたします。

ただし、1基当たりの新設費用の上限は10万円となっております。

なお、修繕、蛍光灯の交換、電気料金につきましては、申請した区の負担となりますので、十分区長さんと協議する必要があります。

市としまして、各区長さんと相談しながら「防犯灯」の設置を推進してまいりたいと思っております。

また、防犯対策に関しまして、菊池市安全安心パトロール隊を結成し、現在菊池南・菊池北・七城・旭志・泗水の5隊を編成し、総勢83人の隊員により交代で下校時に合わせた巡回を行っています。

安全に暮らせるまちづくり委員会(永田大貴 委員長「旭志中」)

質問▼通学路にポイ捨て禁止の貼り紙があるにもかかわらず、たくさんの空き缶や空き瓶が捨てられているのを目にします。

これは、個人の意識の問題であると思いますが、行政ではどのような現状をどのように理解

し、何か対策を考えておられますか。

答弁▼菊池市の「総合計画基本構想」には、「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」をキャッチフレーズとして掲げています。豊かな自然環境を守ることは、菊池市民全員の使命であると考えています。

本市では、市民の皆さんと行政が一体となり、美しいまちづくりを推進し、生活環境がよくなることを目的に「菊池市美しいまちづくり条例」や「菊池市の河川を美しくする条例」を定め、生活環境の保全を図ることとしております。

「指摘のとおり、道路や河川などに「ゴミのポイ捨て」が後を絶たない状況は認識しております。不法投棄の防止対策としては、市広報で適時「不法投棄の防止」を呼びかけております。

また、不法投棄が多い場所には「看板の設置」や毎日行っており監視パトロール車による「不法投棄防止の監視業務」、また、河川水援隊の方々による「河川調査・監視パトロール」などの事業を実施しており、各区の生活環境推進委員の皆さまには、地域の生活環境の保全、ゴミの正しい分別出し方の指導や不法投棄の監視活動など環境行政全般にわたってご協力いただいております。

また、バスの本数を増やす計画については、既存のバス事業者と調整を図りながら、旧町村を含めて交通体系の見直しの中で検討を行ってまいります。

志の老人福祉センターが老朽化しておりますので、バリアフリー化で高齢者の皆さんに優しく温もりのある施設とするよう計画が進められております。

また、特別養護老人ホーム「つまごめ荘」について、現在改築工事が行われており、平成19年3月に完成予定となっております。

また、バスの本数を増やす計画については、既存のバス事業者と調整を図りながら、旧町村を含めて交通体系の見直しの中で検討を行ってまいります。

宮崎克己議員(泗水中)

質問▼菊池市では、3人目以降の子どもが生まれた時に、10万円ぐらいのお金が出ると思います。

少子化対策のためにも、もっとお金を出すことはできないでしょうか。

答弁▼「すくすく子育て祝金制度」の増額は現在のところ予定しておりません。

菊池市としては、たくさんの方の事業を複合的に実施しながら、子育て中の親が持つ子育ての負担の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備し、さらに地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、少子化の流れに歯止めがかかるよう努めてまいります。

25 広報きくち | 2006 NOVEMBER-1 |